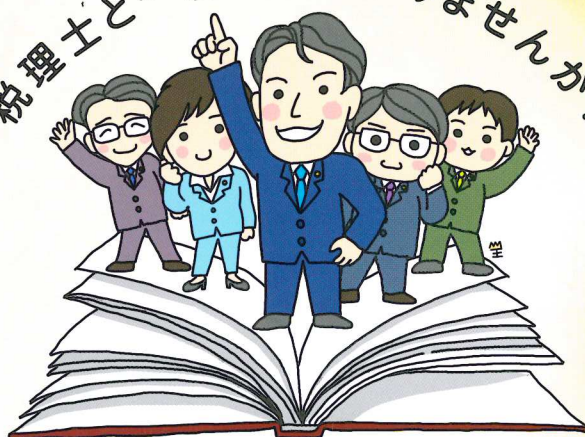


日本の未来を担う子どもたちのために

～租税教室のご案内～



税理士と一緒に学んでみませんか？



近畿税理士会

安心して豊かな未来のために、 税の大切さを主権者として一緒に考えよう！

- 小学生や18歳選挙権年齢を前にした中学生・高校生の皆さんに、税の仕組みや働き、日本の財政の現状などを分かりやすく解説します。
- 学習指導要領を踏まえて作成されたテキストに基づき、税の専門家としての知識や経験を盛り込んだ租税教室を行います。
- グループワークなどを取り入れ、税金の集め方や使い方に対する一人ひとりの考え方の違いを実感することにより、選挙や政治参加の重要性を学ぶ機会とします。
- 特別支援学校用の教材も各種用意しています。

●租税教室の具体的な講義例

①税理士の仕事

②税金の種類や特徴

- ・どうしてたくさんの税金があるの？
- ・直接税と間接税のメリット、デメリット

③公平な税負担とするため（簡単な実例でグループワーク）

- ・収入の違いによる税負担を考える
- ・消費税率のアップ 賛成？反対？

④日本の財政の現状（歳入、歳出、公債残高の推移）

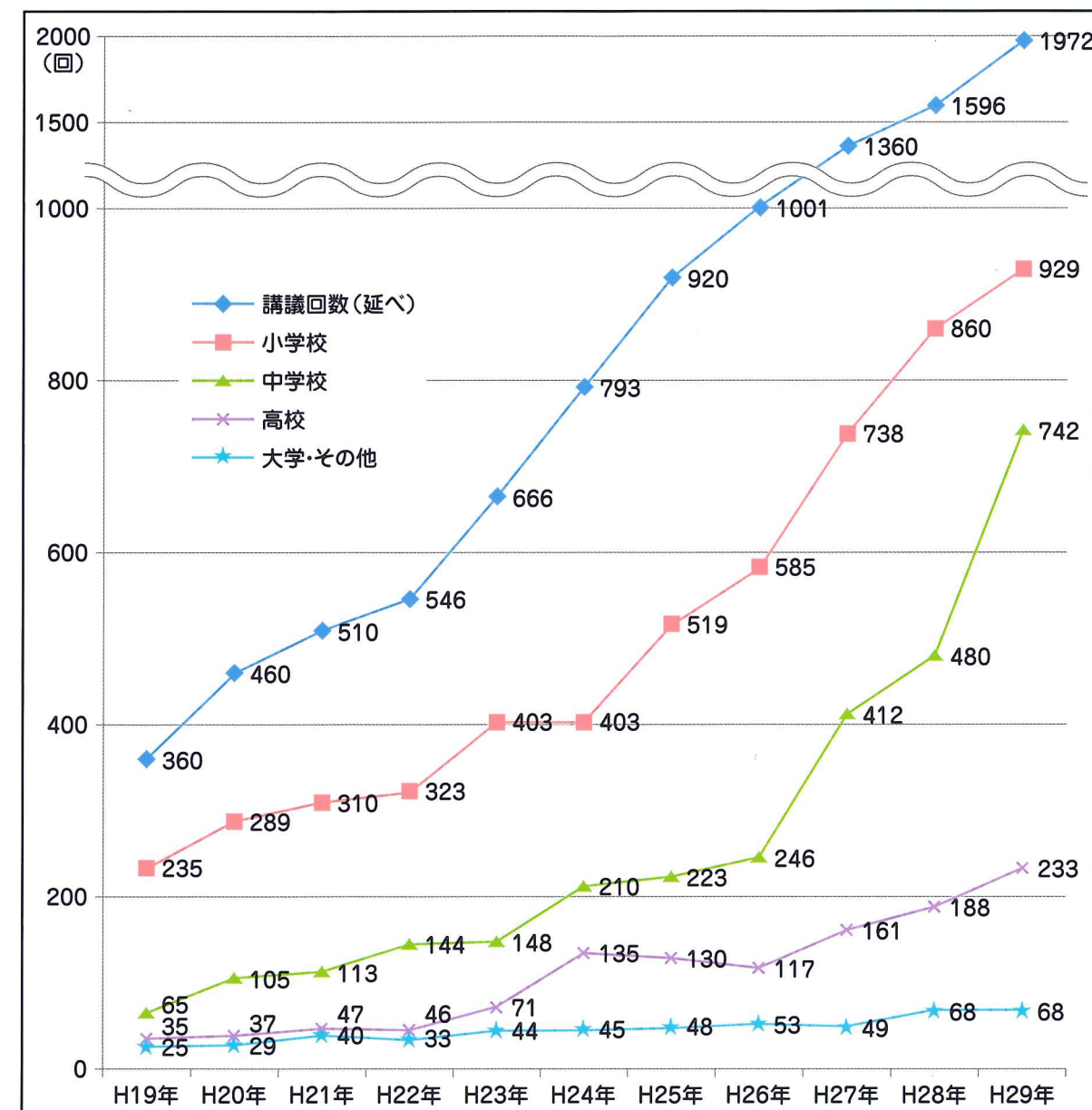
- ・歳入不足をどうするか
- ・大きな政府、小さな政府
- ・海外の国と比較してみると

⑤まとめ



租税教室への講師派遣実績について

近畿税理士会 租税教室への講師派遣実績一覧（推移）



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
講義回数(延べ)	360	460	510	546	666	793	920	1,001	1,360	1,596	1,972
派遣講師数(延べ)	366	463	517	549	672	801	964	1,089	1,431	1,686	2,075
派遣支部	55	60	63	68	75	75	79	81	82	79	82
小学校	235	289	310	323	403	403	519	585	738	860	929
中学校	65	105	113	144	148	210	223	246	412	480	742
高校	35	37	47	46	71	135	130	117	161	188	233
大学・その他	25	29	40	33	44	45	48	53	49	68	68

租税教室で使用する教材一覧



町づくりシート

「税と社会について考えよう」
中学生向けパワーポイント教材一例

このクラスを国として考えてみましょう

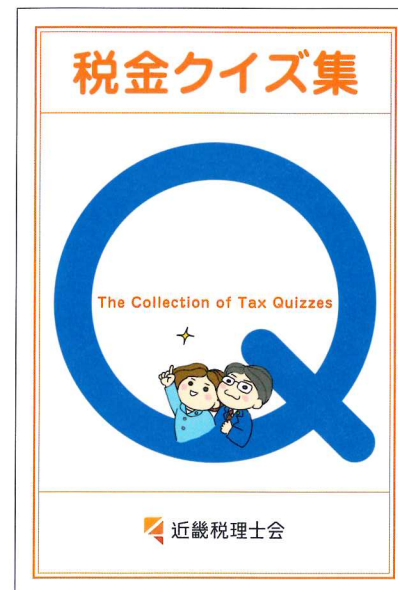
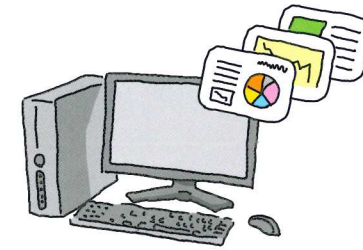
- 皆さんの1年間の収入は1000万円とします。
- この国にはまだ中学校がありません。
- 中学校を作るのに9000万円が必要です。
- では、問題です！皆さんがいくらずつ税金を払えば中学校を作ることができるでしょうか？



テーマ2
税金を
体験しよう



租税教育副読本
「税って何かな？」



税金クイズ集 クイズ一例

明治時代に実際にあった税金はどれでしょう？

- ①うさぎ税
- ②たぬき税
- ③きつね税

9. 税金の使いみちはどのように決めている？

税に関する法律(税負担の方法)と税の使いみち(予算)は、国民の代表者である議員が国会で決めています。

日本国憲法
第30条【納税の義務】 国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ。
第84条【課税】 あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。

政治への参加と国を支える税金を国民が負担することが、対になっているのが、民主主義の基本です。

高校生向けパワーポイント教材一例
「税のしくみから社会のあり方を考えよう」



それぞれの学年に応じた分かりやすく、
興味を持ちやすい教材を使用いたします。

講師養成会議開催風景



税理士用資料
租税教室実践マニュアル



税理士による租税教室を行っています

租税教室を実施しております
租税教育テキスト集

近畿税理士会
ホームページから
「租税教育」をクリック！



上記の租税教育の教材データは
近畿税理士会ホームページから
閲覧、ダウンロードする事が
できます(一部を除く)。

租税教育について詳しくは

近畿税理士会

検索

租税教室を受けた児童・生徒からの感想

- 税金の大切さや一人ひとりの考えることが必要だと思った。(小6・男子)
- 色々な角度から見て、『公平』に税金を集めていて、すごいと思いました。(小6・女子)
- 今まで税金なんかなくなったほうがいい!と思っていましたが、税金は自分たちの生活にはとても大切なんだなと思いました。本当にありがとうございました。(中1・女子)
- 自分が買い物をして払っている消費税の他に50種類の税金があることに驚きました。(中1・女子)
- 税金がなくなると日本社会が大変なことになってしまう危機感がわいた。これからは無関心ではなく少しは興味をもち、大切さを心に留めておく。(中3・男子)
- テレビなどでもたまに税の話をしていて、説明を聞いてもよくわからなかったけど、今日の授業で面白く、クイズみたいに説明してくださって少し理解できてきました。(中3・女子)
- 歳入、歳出、税金の使い道について将来的な部分を考え、国民みんなで考える必要があるんだなと思いました。(高3・男子)
- “みんなの将来をみんなで決める”という考えをしていかないといけないと改めて気づいた。(高3・女子)



税理士という職業

私たち税理士は、主に税金に関する相談や税務書類の作成を行っています。その他にも税と会計の専門家として、経営や資産形成のアドバイスなども行っています。さらに国への税制の提言、租税教育への取り組みなど地域社会にも貢献しています。税理士は多岐にわたる業務があり、皆様と深く関わることができる、やり甲斐のある魅力あふれる仕事です。



税理士になるには?

税理士になるには、主に税理士試験に合格することです。しかし、1科目ずつ合格をする「科目合格制」ですので、働きながら税理士を目指す方も多くいます。合格後は、独立開業や勤務など自分に合った働き方ができます。女性の割合も年々高まっています。



近畿税理士会

租税教育推進部

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4
TEL.06-6941-6886 FAX.06-6942-2182
ホームページ <http://www.kinzei.or.jp/>